

# 衆議院環境委員会ニュース

平成 25.11. 8 第 185 回国会第 4 号

11 月 8 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 独立行政法人原子力安全基盤機構の解散に関する法律案（内閣提出第 16 号）

- ・石原環境大臣、井上環境副大臣、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、生活、野間健君（無） 反対一みんな）
- ・盛山正仁君外 4 名（自民、民主、維新、公明、生活）から提出された附帯決議案について、吉田泉君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、生活、野間健君（無） 反対一みんな）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中 島 克 仁 君（みんな）

- ・独立行政法人原子力安全基盤機構（以下「機構」という。）が原子力規制委員会に統合されることにより、東京電力福島第一原子力発電所事故の収束作業にどのような効果があるのか、田中原子力規制委員会委員長（以下「田中委員長」という。）の見解を伺いたい。併せて、機構の統合よりもまずは東京電力の破たん処理を行うべきとの意見に対する田中委員長の見解も伺いたい。
- ・今回の統合が、原発再稼働に向けた原発の新規制基準に基づく適合性審査加速化のための措置であるとの意見もある。この統合の目的が原発の再稼働を早めるためではないことを、原子力規制委員会に改めて確認したい。

### 小宮山 泰 子 君（生活）

- ・機構の発足以降今日までの 10 年間の成果と、それに対する田中委員長の評価を伺いたい。併せて機構が原子力規制委員会に統合されることにより期待される効果について石原環境大臣の見解を伺いたい。
- ・原子力プラントメーカー等の出身者が多い機構職員が国家公務員である原子力規制委員会の職員となることで、国民から関係業界との癒着等の誤解を受けまいよう十分説明する必要があるのではないか、原子力規制委員会の方針を伺いたい。